

## 中国における風水信者数と風水利用者数の差の解明

チョウ カ クワイ

古人の環境学であった風水学は現代において、民間的信仰など様々な考えが含まれており、迷信的なものになっている。さらに、現代の中国における風水利用者は風水信者の二倍以上存在していることが分かっている。これは、この現象を解明する卒論である。

第一章では風水文化について説明する。第一節では風水学の起源や風水学に含まれる知識について説明する。第二節では風水活動の目的である基本理念について説明する。第三節では風水学の誕生から現代に至るまでの歴史的経緯について説明する。第四節では風水学に含まれる知識・思想・応用変化について説明する。第五節では現代の中国社会における風水の位置づけについて説明する。

第二章では現代で風水活動を行っている人を富裕層・知識人・政府の公務員・一般市民など4種類に分けて、それぞれ風水活動と関わる特徴を取り上げる。第一節では富裕層が風水学や風水鑑定家を信じ、風水活動を行うことについて説明する。第二節では、知識人の現代の風水文化に関する考えを取り上げる。第三節では無神論を主張する中国共産党政府の公務員が公的風水活動を行うことは許されないが、それでも行おうとする現状や影響について説明する。第四節では風水利用者のうち最も高い割合を占めていると思われる一般市民が風水活動を行う理由について説明する。

第三章では中国の社会現状を取り上げ、風水活動との関係性を示す。第一節では近年の中国の教育程度・教育水準の影響のため、市民が風水学を理解するのに力不足であることについて説明する。第二節では中国の人口増加や経済発展の影響を受けて、中国の不動産業・建築業が発展していき、風水市場も影響を受けて発展していることについて説明する。

第四章では近年成長している中国風水市場で活躍している風水鑑定家について説明する。第一節では現代の風水鑑定家の仕事内容・問われる知識や出身などの特徴を取り上げる。第二節では中国の風水鑑定家の業績について説明する。第三節では風水文化を流行させた風水鑑定家の行動について説明する。

第五章は本論文の結論である。第一節では本論文の結論に基づいて、中国における風水利用者が風水信者より多く存在していることに関する仮説を立てる。第二節・第三節・第四節では本論文の示唆・貢献・これからの課題について説明する。